

「環境ビジネス支援」により新しい“商流”を創り出していきます。

昨年秋以降の未曾有の金融危機に端を発した景気減速のなかで、不況脱出に向けた新しい展開のひとつとして、「環境ビジネス」への期待が高まっています。

当行では「環境ビジネス支援」を不況脱出のテコとするだけでなく、当行のもつネットワークを活用し、新たな“商流”につなげていきます。

「エコビジネスマッチングフェア」を開催

平成21年6月、2回目となる「エコビジネスマッチングフェア」を開催しました。平成20年7月に初めて実施した同フェアが好評を得たことから、規模を拡大して実施したもので、今年は、出展社・団体数120（昨年75）、来場者数2,600名（昨年1,800名）、当日の商談数818件（昨年359件）と一層の盛況となりました。

同フェアはお取引先の皆さまに「環境に特化」した商談と交流の場を提供し、今後の事業展開のヒントや新しいビジネスパートナーを見つけていただくことを目的として開催しております。今年は新たに環境に関連した「アグリ・フード」の分野を加え、一層幅広い商談実施に向けて取り組みを行いました。今後も新しい“商流”の創出に向け、引き続き開催していく予定です。



エコビジネスマッチングフェア2009

観光事業と連携

地産地消に向けたアグリ・フードビジネスへの取り組み

今年度のエコビジネスマッチングフェアの新たな出展分野に加えた「アグリ・フードビジネス」への取り組みにも注力しています。当行では、平成20年9月滋賀県農業法人協会に賛助会員として参加。農商工連携の第一歩として、世界に誇るべき日本の食文化を守り、地産地消を進めることで、地元のビジネスの活性化と環境保全につなげてまいります。

「ひこにゃん」人気の高まり、映画「火天の城」のヒットにより、滋賀県の「観光ビジネス」も盛り上がりを見せています。平成23年には「浅井三姉妹」を題材としたNHK大河ドラマも決定しており、当行では行政とも連携し、滋賀県の「観光ビジネス」と「アグリ・フードビジネス」の連携による新たなビジネス展開に向けて、積極的に取り組んでまいります。

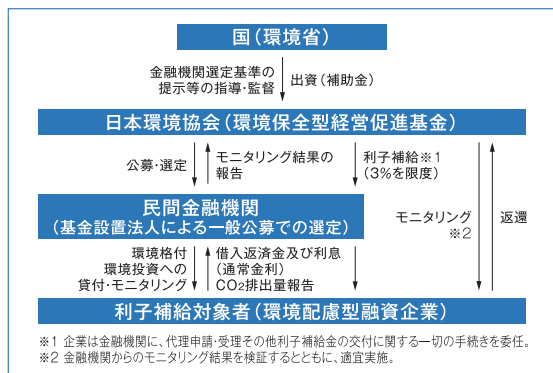




琵琶湖原則支援資金 (環境省利子補給活用プラン)の取り扱い開始

「琵琶湖原則支援資金(環境省利子補給活用プラン)」の取り扱いを、平成21年10月から開始しました。この商品は、国の実施する「京都議定書目標達成特別支援無利子融資利子補給金交付事業」に則したもので、地球温暖化の対策をご計画の事業者へのご融資に対し、3年間にわたり国から利子補給(3%上限)が受けられます。この事業では、事業者の環境配慮の取り組みを正しく評価できる銀行の体制を求められており、環境省の公募により取扱金融機関が選定されました。当行は取扱金融機関として地方銀行で最初に選定されるとともに、公募にあたっての環境省が公表した環境配慮の評価体制は、当行の環境格付を参考に策定されています。本商品では、当行の環境格付で一定以上の評価を満たしていただくなど、ご融資の条件がございますので、くわしくは店頭にてご相談ください。

京都議定書目標達成特別支援無利子融資の流れ



温室効果ガス削減支援業務への取り組み開始

平成21年2月から「温室効果ガス削減支援業務」の取り組みを開始しました。通常のご融資は、お取引先からご相談いただいた設備投資計画に対して資金を提供する流れとなりますが、本業務では、当行から温室効果ガス排出削減に向けたご提案をお取引先へ提供し、その実際の設備投資の実行にあたって資金の提供(融資)を行うという、通常のご融資とは反対の流れとなります。

具体的には、当行がお取引先のエネルギー使用状況(光熱費の状況)を把握し、それぞれのお取引先の実情に合わせて、温室効果ガス排出削減のノウハウを持つパートナー企業を紹介します。当行はそのパートナー企業と共同で具体的な削減手法を提案し、削減に向けた設備投資に必要な資金を提供することで、地域の地球温暖化防止に向けた取り組みを支援するものです。

本業務により、地域の金融機関として、地域社会の低炭素化に貢献するとともに、お取引先の設備投資需要を喚起することで、地域経済の活性化を実現していきます。

業務の流れ

